

令和5年

交通事故のあらまし



下 田 警 察 署
交 通 安 全 協 会 下 田 地 区 支 部
下 田 地 区 安 全 運 転 管 理 協 会

第1 全国・静岡県的人身交通事故

1. 発生状況

区 分	件 数		死 者 数		負 傷 者 数	
		前年対比		前年対比		前年対比
全 国	307,930	7,091	2,678	68	365,595	8,994
静 岡 県	18,662	-16	70	-13	23,573	-89

2. 主要都道府県の発生状況

(1) 発生件数ワースト10

区 分	都道府県	件 数
1	東 京	31,385
2	大 阪	25,951
3	愛 知	24,547
4	神 奈 川	21,870
5	福 岡	20,173
6	静 岡	18,662
7	埼 玉	17,002
8	兵 庫	16,281
9	千 葉	13,564
10	群 馬	10,038

(2) 死者数ワースト10

区 分	都道府県	死 者 数
1	大 阪	148
2	愛 知	145
3	東 京	136
4	北 海 道	131
5	千 葉	127
6	埼 玉	122
7	神 奈 川	115
8	福 岡	103
8	兵 庫	103
10	茨 城	93
12	静 岡	70

3. 警察署・隊別発生状況

区 分	件 数	死 者 数	負 傷 者 数
合 計	18,662	70	23,573
下 田	182	3	257
伊豆中央	240	1	338
三 島	600	2	733
伊 東	239	2	347
熱 海	133	1	172
沼 津	1,074	7	1,305
裾 野	402	2	496
御 殿 場	396	2	511
富 士	1,221	3	1,485
富 士 宮	635	2	834
清 水	1,159	2	1,442
静 岡 中 央	1,237	6	1,462
静 岡 南	1,074	1	1,297
藤 枝	630	4	776

区 分	件 数	死 者 数	負 傷 者 数
焼 津	793	3	988
島 田	435	3	562
牧之原	287	2	361
菊 川	288		381
掛 川	624		807
袋 井	573	3	721
磐 田	972	2	1,266
天 竜	74	2	93
浜 北	450	1	570
浜 松 東	1,802	2	2,306
浜 松 中 央	1,575	3	1,949
浜 松 西	571	1	740
細 江	527	1	672
湖 西	224	2	276
高 速 隊	245	7	426

第2 下田警察署管内の人身交通事故

1. 発生状況

区 分	件 数		死 者 数		負 傷 者 数	
		前年対比		前年対比		前年対比
R 5	182	4	3	2	257	19

2. 過去10年間の発生状況

区 分	H26	H27	H28	H29	H30	H31・R1	R2	R3	R4	R5
件 数	335	332	309	318	281	264	204	191	178	182
死 者 数		5	5	4	3	4	5	3	1	3
負 傷 者 数	464	490	435	449	372	360	264	230	238	257

3. 月別発生状況

区 分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
件 数	11	16	24	8	13	14	16	21	7	17	13	22
死 者 数						1					1	1
負 傷 者 数	18	23	31	9	22	16	21	30	10	19	18	40

4. 各市町別発生状況

区 分	件 数			死 者 数			負 傷 者 数		
	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
下 田 市	76	60	77				96	76	104
南伊豆町	20	10	12	1		1	22	12	13
河 津 町	22	36	33			1	29	49	62
東伊豆町	47	42	28	1	1		52	63	41
松 崎 町	12	16	10	1			15	20	10
西伊豆町	14	14	22			1	16	18	27
合 計	191	178	182	3	1	3	230	238	257

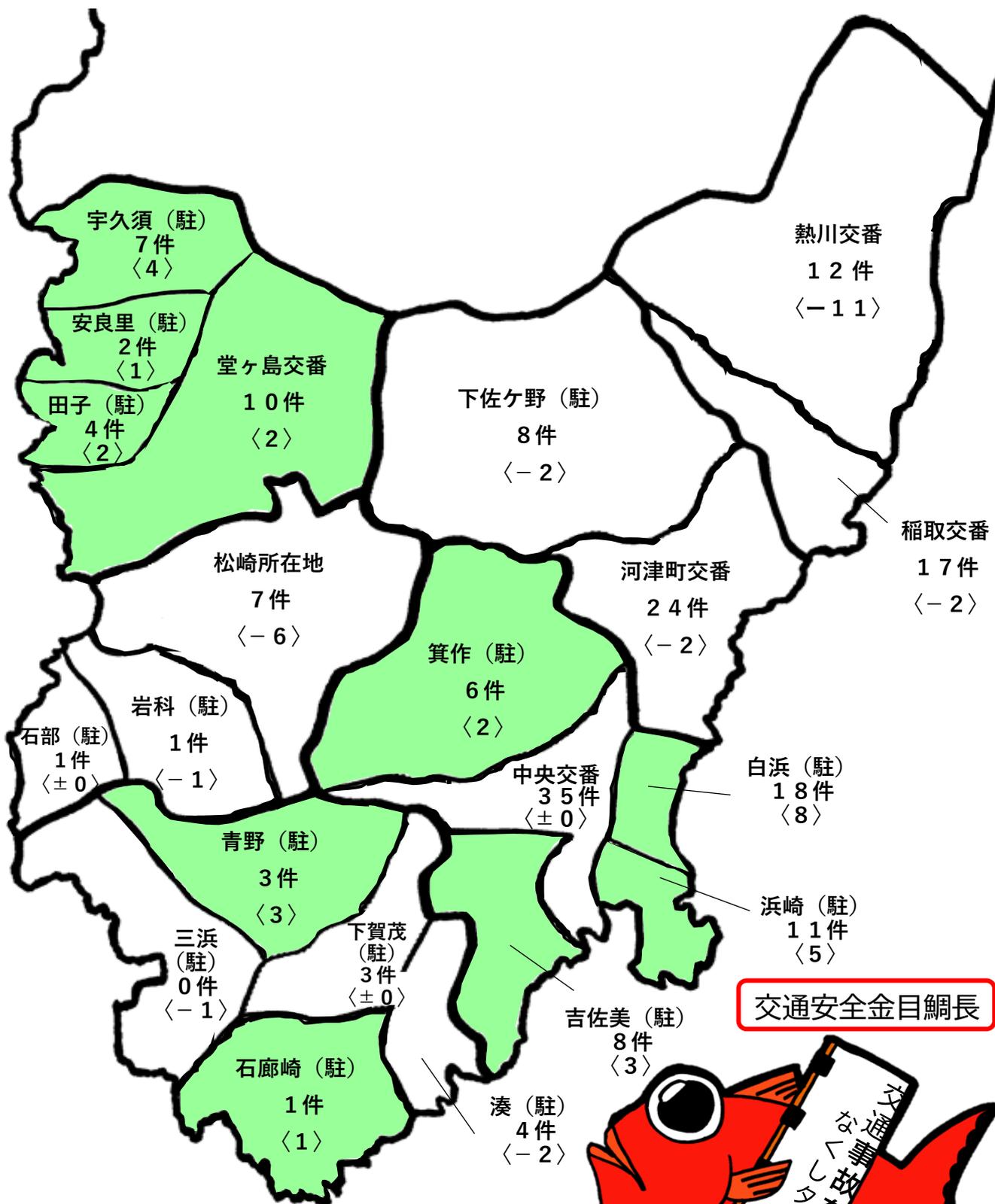
5. 各市町別10年間の発生状況（件数）

区 分	H26	H27	H28	H29	H30	H31・R1	R2	R3	R4	R5
下 田 市	147	146	117	124	117	93	72	76	60	77
南伊豆町	27	27	28	21	21	20	18	20	10	12
河 津 町	52	56	53	48	42	52	47	22	36	33
東伊豆町	57	56	61	72	56	48	43	47	42	28
松 崎 町	22	25	20	17	13	20	9	12	16	10
西伊豆町	30	22	30	36	32	31	15	14	14	22

6. 交番・駐在別発生状況

※ 〈 〉 内は前年対比

※ は件数が前年対比増加の交番・駐在



交通安全金目鯛長



一人ひとりが
安全運転・安全歩行に努めましょう！

7. 事故類型別発生状況

区分	件数	死者数	負傷者数
人対車両	対(背)面通行中	5	5
	横断歩道	2	2
	その他	6	1
	その他	9	9
車両相互	正面衝突	11	1
	追突	62	99
	出合い頭	31	43
	追越すれ違い時	8	10
	右左折時	11	13
	その他	22	31
	車両単独	15	1
合計	182	3	257

8. 路線別発生状況

区分	件数	死者数	負傷者数
135号	59	1	98
136号	33		44
414号	22		35
主要地方道	3		4
一般県道	8		10
市・町道	41	1	50
その他	16	1	16
合計	182	3	257

加齢に伴う身体機能の低下が

運転に与える影響とは？

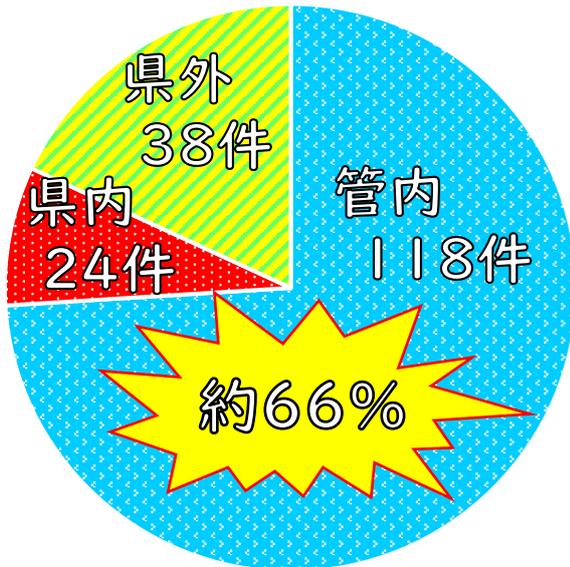
- 漫然と運転し、信号機や歩行者等を見落としてしまう
- とっさの行動やブレーキ操作などに遅れが生じる
- 過去の経験に頼りがちになり形だけの安全確認になる

9. 第1当事者の年齢層別発生状況

区分	20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上	不明	合計
件数	4	15	10	18	25	38	7	31	32	2	182



10. 第1当事者の居住地別発生状況 ※不明は除く



運転しなくなったり、今後しない場合、免許証を自ら返納する**自主返納制度**があります。

運転経歴書の交付を受けませんか？

- 運転経歴証明書は、公的な身分証明書として使えます。
- 自治体から運転経歴証明書の交付手数料の助成が受けられる場合があります。
- バス、タクシーの乗車運賃割引などのサービスが受けられる場合があります。詳しくは、静岡県警察ホームページ「運転免許自主返納者等サポート事業」をご覧ください。

安全運転の徹底を!!



- 走り慣れた道でも油断せずに安全確認を徹底しましょう！
- 漫然運転は事故原因につながります。他の車両や歩行者に注意して、**道路状況に応じた安全な速度**で進行しましょう！
- 危険を予測した「**かもしれない**」運転に心掛けましょう！

第3 死亡事故

※交通事故発生から24時間以内に死者が生じた件数、死者数

1. 発生状況

区 分	件 数	死 者 数	
		前年対比	前年対比
R 5	3	2	3
			2

2. 概要

	発生時間・天候	発生場所	当 事 者	状 況
1	6月上旬 午後7時頃 (曇)	南伊豆町	80代男性 (軽四貨物車運転中) 80代男性 (歩行中 死亡)	軽四貨物車が 歩行中の歩行者 と衝突
2	11月下旬 午後3時頃 (晴)	西伊豆町	80代男性 (普通自動車運転中) 単独事故	普通自動車が 壁に衝突
3	12月下旬 午後4時頃 (曇)	河津町	30代女性 (普通自動車運転中) 同乗男児 死亡 50代男性 (普通自動車運転中)	普通自動車同士の 正面衝突



自宅付近で
交通事故が多発!!

横断歩道
渡って!!

- ・ 油断しがちな自宅付近が危険です
- ・ 近くの横断歩道を利用し、通り慣れている道でもしっかり安全確認をしましょう

「しずおか 安全横断三つの柱」 知っていますか？

- 一の柱 横断する意思表示をしよう
- 二の柱 安全確認をしてから横断しよう
- 三の柱 横断中も安全確認しよう



実践して、横断中の交通事故防止に努めましょう！

第4 各種事故

1. 各種事故

区 分	下田警察署 管内			下田市			南伊豆町			河津町			東伊豆町			松崎町			西伊豆町		
	件 数	死 者 数	負 傷 者 数	件 数	死 者 数	負 傷 者 数	件 数	死 者 数	負 傷 者 数	件 数	死 者 数	負 傷 者 数	件 数	死 者 数	負 傷 者 数	件 数	死 者 数	負 傷 者 数	件 数	死 者 数	負 傷 者 数
歩 行 者	22	1	21	9		9	2	1	1	4		4	4		4	1		1	2		2
自 転 車	15		15	10		10	1		1						2		2	2		2	
原 付 車	6		6	4		4							1		1				1		1
自 二 車	19		21	6		6	2		2	2		4	4		4	2		2	3		3
幼 児	2	1	2							1	1	1	1		1						
園 児	3		3	1		1				2		2									
小 学 生	7		7	4		4				1		1	1		1	1		1			
中 学 生	3		3	2		2							1		1						
高 校 生	3		3	3		3															
高 齢 者	96	2	70	38		28	6	1	3	15		13	19		12	4		2	14	1	12
若者運転起因	28		44	11		15	1		2	6		15	5		6	2		2	3		4
高齢ドライバー	63	2	78	23		30	6	1	6	10		14	12		15	3		3	9	1	10
初心ドライバー	8		14	3		5	1		2	1		3	2		3	1		1			
飲 酒 運 転	2		2				1		1										1		1
カ ー ブ	27	1	46	8		12	2		2	8	1	20	4		7	2		2	3		3
交 差 点 内	40	1	50	22		29	5	1	5	7		10	1		1	3		3	2		2
夜 間	22	1	29	5		7	5	1	4	4		6	3		3	1		1	4		8
県 外 者	60		100	24		34	2		2	16		38	8		13	4		4	6		9

※「若者運転起因」とは16歳以上30歳未満の当事者が原付以上の車両を運転して第1当事者となった人身事故件数と、この事故から生じた全死傷者数

※「初心」とは事故車種の運転免許取得後1年未満の者をいう

※「夜間」とは日没から日の出の間に発生した人身事故件数と、この事故から生じた全死傷者数

※「県外者」とは静岡県以外の居住者が第1、第2当事者となった人身事故件数と、この事故から生じた全死傷者数

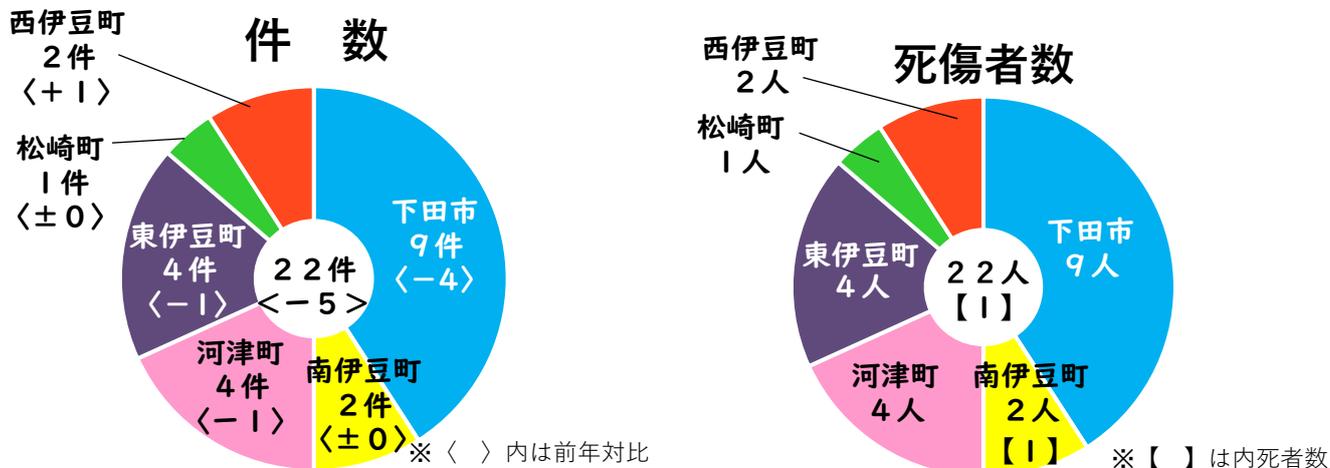
2. 歩行者事故

※歩行者が第1、第2及び第3以下の当事者となった人身事故件数とその歩行者の死傷者数

(1) 発生状況

件数	死者数		負傷者数	
	前年対比	前年対比	前年対比	前年対比
22	-5	1	21	-6

(2) 各市町別発生状況



(3) 時間帯別発生状況

区分	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	合計
件数				1	6	4	1	6		3	1		22

(4) 年齢層別死傷者数

区分	15歳以下	16歳	20歳	25歳	30歳	40歳	50歳	60歳	65歳	75歳以上	合計
死傷者数	1				1	5	3	2	3	7	22

(5) 事故類型別発生状況

区分	件数	死者数	負傷者数
対(背)面通行中	5		5
対車両	横断歩道	2	2
	その他	6	1
	その他	9	
合計	22	1	21



<園児に対する横断指導>



皆さん、停まっている車の直前・直後の横断をしていませんか？

車の陰からの横断は対向車から見えにくく、大変危険です。横断歩道や歩道橋を利用して、安全に横断しましょう！！

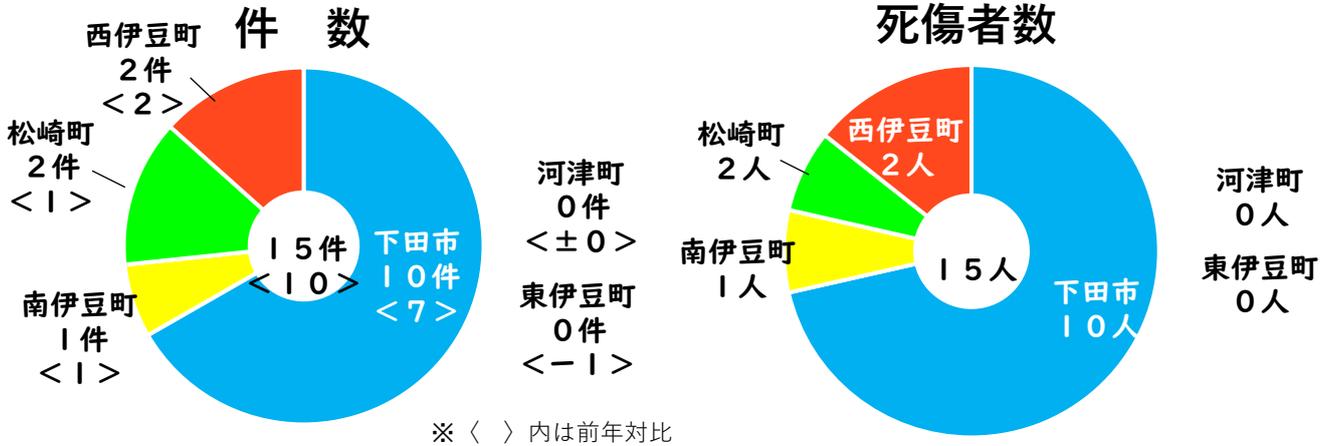
3. 自転車事故

※自転車が、第1、第2及び第3以下の当事者となった人身事故件数と、その自転車運転者の死傷者数

(1) 発生状況

件数		死者数		負傷者数	
	前年対比		前年対比		前年対比
15	10		± 0	15	11

(2) 各市町別発生状況



(3) 時間帯別発生状況

区分	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	合計
件数					2	3	4	2	3	1			15

(4) 年齢層別死傷者数

区分	15歳以下	16~19歳	20~24歳	25~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~74歳	75歳以上	合計
死傷者数	4	3	1			2		2	2	1	15

(5) 事故類型別発生状況

区分	件数	死者数	負傷者数
車両相互	出会い頭	6	6
	追い越し等	2	2
	右左折時	4	4
	その他	2	2
車両単独	1		1
合計	15		15

(6) 第1当事者の違反別発生状況

区分	件数
優先妨害	1
安全不確認	7
漫然運転	1
脇道運転	1
動静不注視	1
その他	2
その他	2
合計	15



自転車は「軽車両」です。乗れば車の仲間！！
「一時停止」の標識がある所では、停止線の手前で必ず止まり、安全確認をしてから通しましょう。

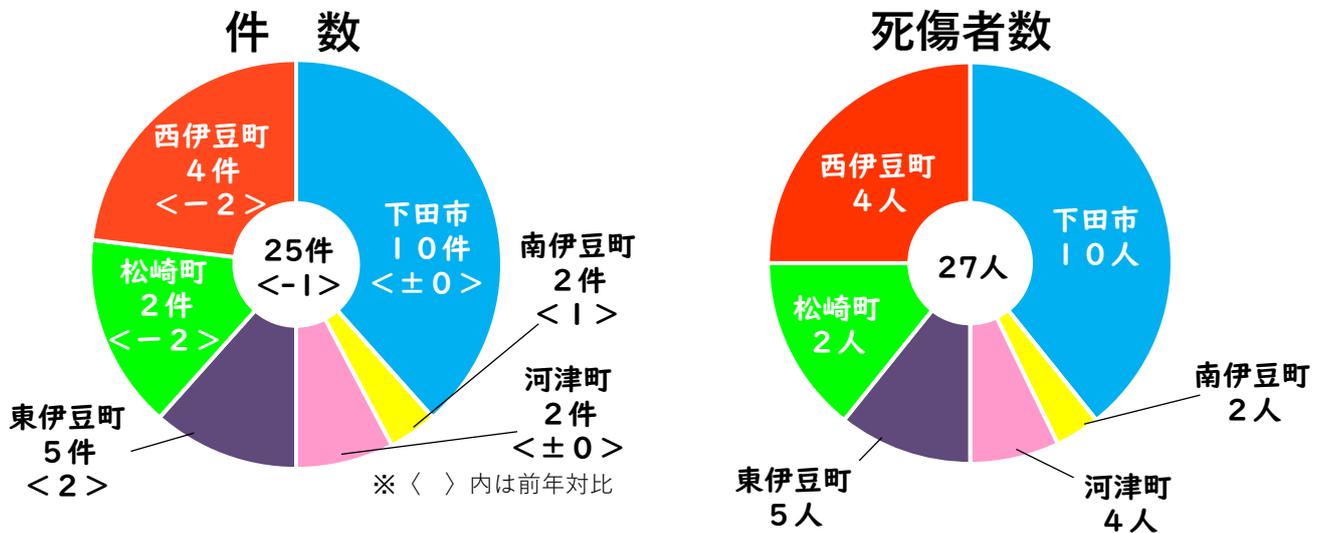
4. 二輪車事故（自動二輪車、原付車）

※道路交通法上の自動二輪車及び原動機付自転車が、第1、第2当事者となった人身事故件数と、この事故から生じた全死傷者数

(1) 発生状況

件数	前年対比	死者数	前年対比	負傷者数	前年対比
	25		-1		

(2) 各市町別発生状況



(3) 時間帯別発生状況

区分	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	合計
件数			1			4	8	8	3			1	25

(4) 年齢層別死傷者数

区分	15歳未満	16歳	20歳	25歳	30歳	40歳	50歳	60歳	65歳	75歳以上	合計
死傷者数			2	3	2	4	8	2	3	3	27

(5) 事故類型別発生状況

区分	件数	死者数	負傷者数
車両相互	追突	5	5
	出会い頭	6	6
	追越すれ違い時	2	2
	右左折時	3	3
	その他	4	6
車両単独	5	5	
合計	25	27	

(6) 第1当事者の違反別発生状況

区分	件数	
安全運転義務違反	運転操作	5
	漫然運転	1
	脇見運転	1
	動静不注視	1
	安全不確認	12
	その他	4
その他	1	
合計	25	

5. 幼児・園児事故

※幼児・園児が第1、第2及び第3以下の当事者となった人身事故件数とその幼児・園児の死傷者数

(1) 発生状況

件数	死者数		負傷者数	
	前年対比	前年対比	前年対比	前年対比
5	5	1	1	5

(2) 時間帯別発生状況

区分	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	合計
件数					1	1	1		2				5

(3) 状態別死傷者数

区分	死傷者数
自動車同乗中	6
合計	6

(内死者数 1人)

お子さんを同乗させる際は、
チャイルドシート・ジュニアシートを
正しく着用しましょう！



6. 小学生事故

※小学生が第1、第2及び第3以下の当事者となった人身事故件数とその小学生の死傷者数

(1) 発生状況

件数	死者数		負傷者数	
	前年対比	前年対比	前年対比	前年対比
7	±0	±0	7	-1

(2) 時間帯別発生状況

区分	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	合計
件数					1	2	1	2	1				7

(3) 状態別死傷者数

区分	死傷者数
自動車同乗中	4
自転車	2
歩行中	1
合計	7

どうろをわたるとき

- とまる
- てをあげる
- くるまをみる



<小学生に対する交通講話>



<小学生に対する下校指導>



<小学生に対する横断指導>

7. 中学生事故

※中学生が第1、第2及び第3以下の当事者となった人身事故件数とその中学生の死傷者数

(1) 発生状況

件数	数	死者数	数	負傷者数	数
	前年対比		前年対比		前年対比
3	-1	0	±0	3	-2

(2) 時間帯別発生状況

区分	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	合計
件数						1	2						3

(3) 状態別死傷者数

区分	死傷者数
自動車同乗中	1
自転車	2
合計	3



<中学生に対する交通講話>



<中学生に対する自転車実験>

8. 高校生事故

※高校生が第1、第2及び第3以下の当事者となった人身事故件数とその高校生の死傷者数

(1) 発生状況

件数	数	死者数	数	負傷者数	数
	前年対比		前年対比		前年対比
0	-3	0	±0	0	-3

(2) 時間帯別発生状況

区分	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	合計
件数													0

(3) 状態別死傷者数

区分	死傷者数
自動車同乗中	
歩行中	
合計	0



<自転車利用者に対する広報啓発活動>



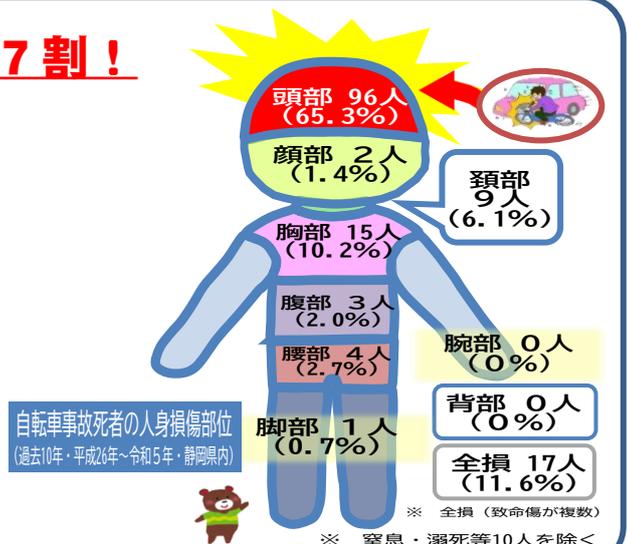
<スタントマンによる交通教室>

自転車事故死者の致命傷は頭部が約7割！



自転車乗車中に事故に遭った場合、ヘルメットを着用していないと、着用していた場合と比べて致死率が2.4倍になります。

自分や家族の命を守るためにも、ヘルメットを着用しましょう。



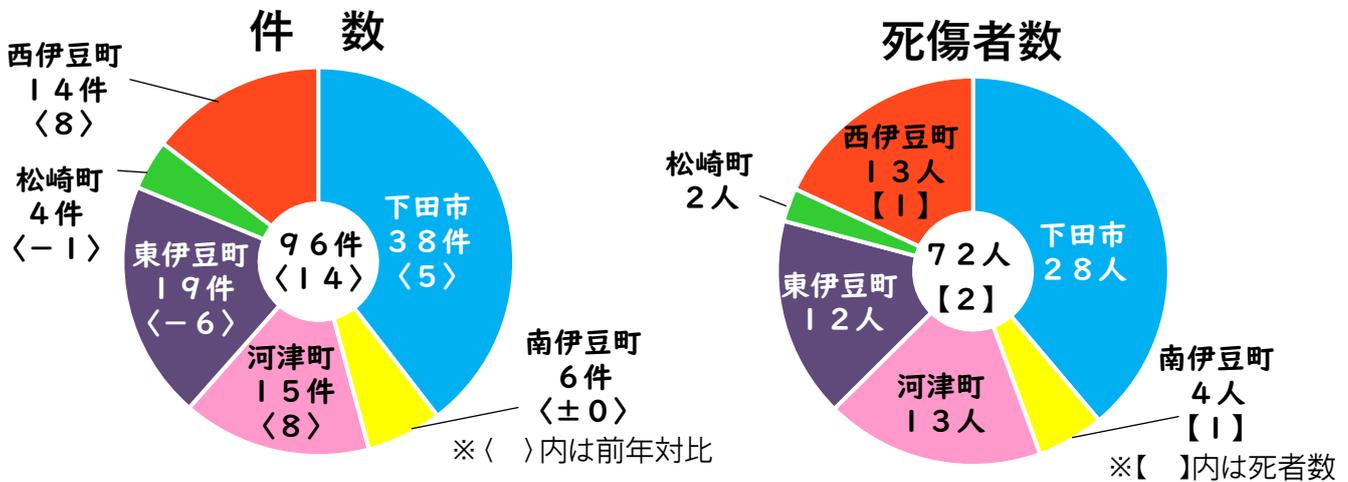
9. 高齢者事故

※高齢者(65歳以上)が、第1、第2及び第3以下の当事者となった人身事故件数とその高齢者の死傷者数

(1) 発生状況

件数		死者数		負傷者数	
	前年対比		前年対比		前年対比
96	14	2	2	70	19

(2) 各市町別発生状況



(3) 月別発生状況

区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
件数	4	7	14	5	7	9	9	7	3	8	10	13	96

(4) 時間帯別発生状況

区分	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	合計
件数				4	12	23	21	20	12	3	1		96

(5) 事故類型別発生状況

区分		件数	死者数	負傷者数	
人対車両	対(背)面通行中	2		1	
	横断中	横断歩道	1		1
		その他	5	1	3
	その他	6		4	
車両相互	正面衝突	3		3	
	追突	34		31	
	出会い頭	19		14	
	追越すれ違い時	3		2	
	右左折時	7		5	
	その他	12		3	
	車両単独	4	1	3	
合計	96	2	70		

(6) 第1当事者の違反別発生状況

区分		件数	
車両等	信号無視	1	
	一時不停止	1	
	歩行者妨害	1	
	安全運転義務違反	運転操作	9
		漫然運転	12
		脇見運転	14
		動静不注視	16
		安全不確認	29
		その他	6
	その他	7	
合計	96		

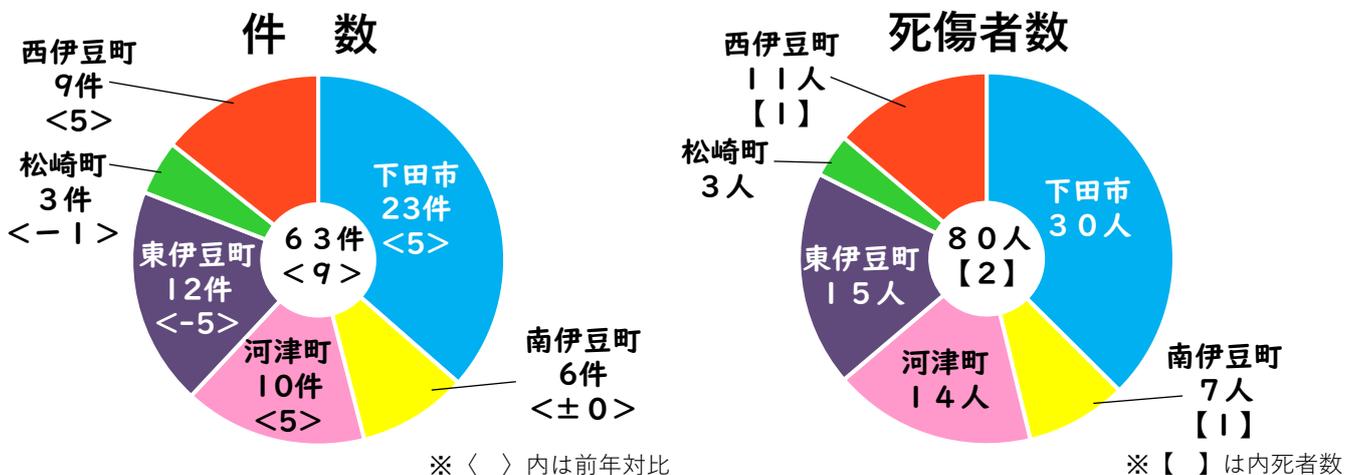
10. 高齢ドライバー事故

※高齢者(65歳以上)が原付以上の車両を運転し、第1当事者となった人身事故件数と、この事故から生じた全死傷者数

(1) 発生状況

件数	死者数		負傷者数		
	前年対比	前年対比	前年対比	前年対比	
63	9	2	1	78	6

(2) 各市町別発生状況



(3) 月別発生状況

区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
件数	3	6	11	1	3	6	5	5	3	5	7	8	63

(4) 時間帯別発生状況

区分	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	合計
件数				2	7	15	15	13	9	2			63

(5) 事故類型別発生状況

区分	件数	死者数	負傷者数
人対車両	対(背)面通行中	1	1
	横断中	4	1
	その他	4	4
車両相互	正面衝突	2	4
	追突	15	19
	出会い頭	16	23
	追越すれ違い時	2	2
	右左折時	5	5
	その他	10	14
	車両単独	4	1
合計	63	2	78

(6) 第1当事者の違反別発生状況

区分	件数	
信号無視	1	
一時不停止	1	
安全運転義務違反	運転操作	9
	漫然運転	6
	脇見運転	8
	動静不注視	9
	安全不確認	21
	その他	4
その他	4	
合計	63	

11. 飲酒運転事故

※自転車以上の車両を、酒酔い又は酒気帯び状態で運転中の者が、第1当事者となった人身事故件数及びこの事故から生じた全死傷者数

(1) 発生状況

件数	前年対比	死者数	前年対比	負傷者数	前年対比
	±0		±0		±0
2	±0		±0	2	±0

(2) 時間帯別発生状況

区分	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	合計
件数								1		1			2



飲酒運転をなくすための3つの約束

- ① お酒を飲んだら運転はしない
- ② これから運転する人にはお酒を飲ませない
- ③ お酒を飲んだ人には運転させない



12. 安管事業所起因事故

※安管事業所従業員が原付以上の車両を運転し、第1当事者となった人身事故件数と、この事故から生じた全死傷者数

(1) 発生状況

件数	前年対比	死者数	前年対比	負傷者数	前年対比
	-16		±0		32
25	-16		±0	32	-29

(2) 時間帯別発生状況

区分	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	合計
件数				2	7	4	1	5	3	3			25

(3) 年齢層別死傷者数

区分	死傷者数
15歳以下	
16歳~19歳	2
20歳~24歳	
25歳~29歳	3
30歳~39歳	3
40歳~49歳	5
50歳~59歳	8
60歳~64歳	1
65歳~74歳	6
75歳以上	4
合計	32

(4) 事故類型別発生状況

区分	件数	死者数	負傷者数
人対車両	対(背)面通行中	1	1
	横断中	1	1
	その他	3	3
車両相対	正面衝突	2	2
	追突	12	18
	出会い頭	4	5
	その他	1	1
車両単独	1		1
合計	25		32

交通安全協会下田地区支部

交通安全協会下田地区支部は、下田警察署及び関係団体と協力し、交通事故のない安全で安心な暮らしをつくるため、皆様からご協力いただいた会費で交通事故防止活動を行っている団体です。

活 動 内 容



各幼稚園・保育園・学校・老人会・サロンなどでの交通安全教室



交通安全教室を開催しませんか？

交通安全指導員は、みなさんの要望に合わせて、わかりやすく交通安全教室を実施します。
1件でも痛ましい交通事故を防ぐため、ぜひ交通安全教室の開催をご検討ください。

●お問い合わせ先●

交通安全協会下田地区支部 交通安全指導員

電話 0558-23-6156



各種交通安全広報活動や交通安全イベント



この他にも優良運転者等の表彰、各地域のイベント会場における交通安全グッズなどの配布、地区支部役員によるカーブミラー清掃、交通チラシ等の広報資料の作成等の活動をしています。

(一財) 静岡県交通安全協会のホームページ

<http://shizuankyou.jp/>



HPのQRコードはこちらです！

各地区支部の活動状況や運転免許などの情報を掲載しておりますのでご覧下さい。

下田地区安全運転管理協会

主な活動は

法定講習/交通事故防止コンクール/交通安全のための広報、啓発活動(交通安全看板・のぼり旗等の掲示)/優良安全運転管理者等の表彰/各季交通安全運動期間中における広報など諸行事への参加/セーフティドライバーコンテストの参加/各事業所の交通安全講習等の交通安全活動を行っています。



○安全運転管理者・副安全運転管理者とは

安全運転管理者

- ・事業所内の運転業務・自動車管理をするとともに、運転者の安全運転を指導教育する。
- ・年齢20歳(20台以上使用の事業所は30歳)以上で、自動車の管理経験2年以上。

①安全運転管理者をおかなければならないところ

- ・自家用自動車5台以上(二輪車は0.5台に換算し、原付は除く)
 - ・乗車定員11名以上のマイクロバス1台以上
 - ・自動車運転代行業者は営業所ごと
- 以上の自家用車を使用している会社・工場・商店等の、事業所・支店・出張所ごとにおく。



副安全運転管理者

- ・安全運転管理者を補助し、事業所内の一定の車両・運転者の安全運転を指導教育する。
 - ・年齢20歳以上で自動車管理経験が1年以上又は運転経験が3年以上。
- (注)自動車の管理経験年数が足りない場合は、あらかじめ公安委員会の資格認定を受ける。

②副安全運転管理者をおかなければならないところ

- ・20台以上の自家用車を使用している会社・工場・商店等におく。
- ・安全運転管理者とは別に副安全運転管理者をおく。
- ・20台ごとに1人おく。(例)20~39台=1人、40~59台=2人、60~79台=3人
- ・自動車運転代行業者は営業所ごと10台以上(例)10~19台=1人、20~29台=2人



○安全運転管理者等の選任・解任

安全運転管理者・副安全運転管理者を選任・解任する場合は、下田警察署交通課又は、松崎分庁舎交通係へお問い合わせ下さい。



法定講習



注意喚起看板の清掃



交通安全運動初日街頭広報

「5台以上の自家用自動車または1台以上のマイクロバス」を使用する事業所は、安全運転管理者の選任が必要です。